## ■故障ではありません

- 冬場など、周囲温度が低い時、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの収縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いいたします。

## ■お手入れのしかた

- 常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

- 器具の汚れ(ホコリや虫など)は、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。
- 木や布セードのホコリは、ハケやブラシで落としてください。

(ご注意) ■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破損の原因となります。
■器具により天然素材の和紙を使用している製品があります。シワ・タルミがある場合はそのままご使用ください。
和紙がへこんだ場合は、その部分に霧状の水をかけてください。乾燥することによって復元します。

| ⚠ 注意 | ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因。 |
|---|---|

## ■故障かな？と思ったら

| 症　状 | 確　認 | 処　置 |
|---|---|---|
| ランプが点灯しない。 | ● 壁スイッチが切れていませんか？<br>● ランプがソケットにきちんと挿入されていますか？<br>● ランプが切れていませんか？ | ● 壁スイッチを入れてください。<br>● ランプソケット部を確かめてください。<br>● 新しいランプと交換してください。 |
| | ● もう一度引きひもを引いてください。 | |

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**愛情点検**



**★長年ご使用の照明器具の点検を！**

| ご使用の際、こんな症状はありませんか？ | ● コゲくさい臭いがする<br>● ランプを取りかえても正常に点灯しない<br>● 器具に触れるとピリピリと電気を感じる<br>● その他異常や故障がある | ▶ ご使用中止 | 故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。 |
|---|---|---|---|

## ■仕様

| 器　具 | 定格電源電圧 | 電源周波数 | 消費電力(器具) | 適　合　ラ　ン　プ |
|---|---|---|---|---|
| 54W形 | AC100V | 50/60Hz共用 | 50W | FHC20　FHC34　常夜灯 100V5W |
| 61W形 | AC100V | 50/60Hz共用 | 55W | FHC27　FHC34　常夜灯 100V5W |

## 保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。

○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

## アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

○アフターサービスについてご不明な点(修理・取扱いのご相談)は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
1.修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
フリーダイヤル (0120) 56-8634　インターネット www.melsc.co.jp
東日本修理受付センター (03)3424-1111
西日本修理受付センター (06)6454-3901
2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター フリーコール (0120)139-365
東京都世田谷区池尻3-10-3　(03)3414-9655

三菱電機株式会社　〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
製造会社 三菱電機照明株式会社　http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
(0467)41-2729　FAX (0467)41-2786



0032424C
E763Z425G02
E763Z425H51

# MITSUBISHI 三菱蛍光灯器具　取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございました。
施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

**お客さまへ**
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために
この「取扱説明書」を必ずお読みください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

形名

| ５４W形 | ６１W形 |
|---|---|
| CPH54033E | CPH61033E |
| CPH54033EL | CPH61033EL |
| CPH54034E | |
| CPH54034EL | |

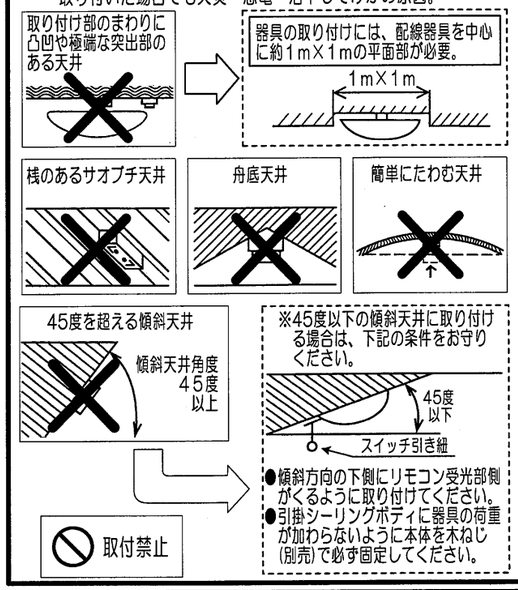
## ■安全のために必ずお守りください

⚠ **警告**　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

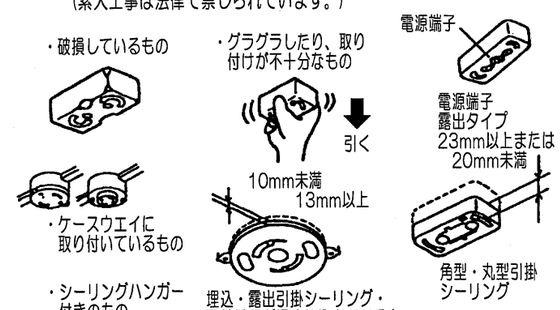
⚠ **注意**　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

### ⚠ 警告

● 次のような、場所には取り付けない。
この器具は天井取付専用です。
指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、
取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因。




● 次のような、配線器具には取り付けない。
火災・感電・落下してけがの原因。
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼する。
(素人工事は法律で禁じられています。)




※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付ける。

● 器具を分解や改造したり、部品を変更しない。

| 改造 | 火災・感電・落下してけがの原因。 |
|---|---|

● 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かない。

| 可燃物 | 火災の原因。 |
|---|---|

### ⚠ 注意

● 屋外や湿気の多い場所で使用しない。

| 湿気禁止 | この器具は非防水です。<br>火災・感電の原因。 |
|---|---|

● 温度の高い場所では使用しない。

| 高温禁止 | 暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しない。火災の原因。この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。 |
|---|---|

● 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらない。

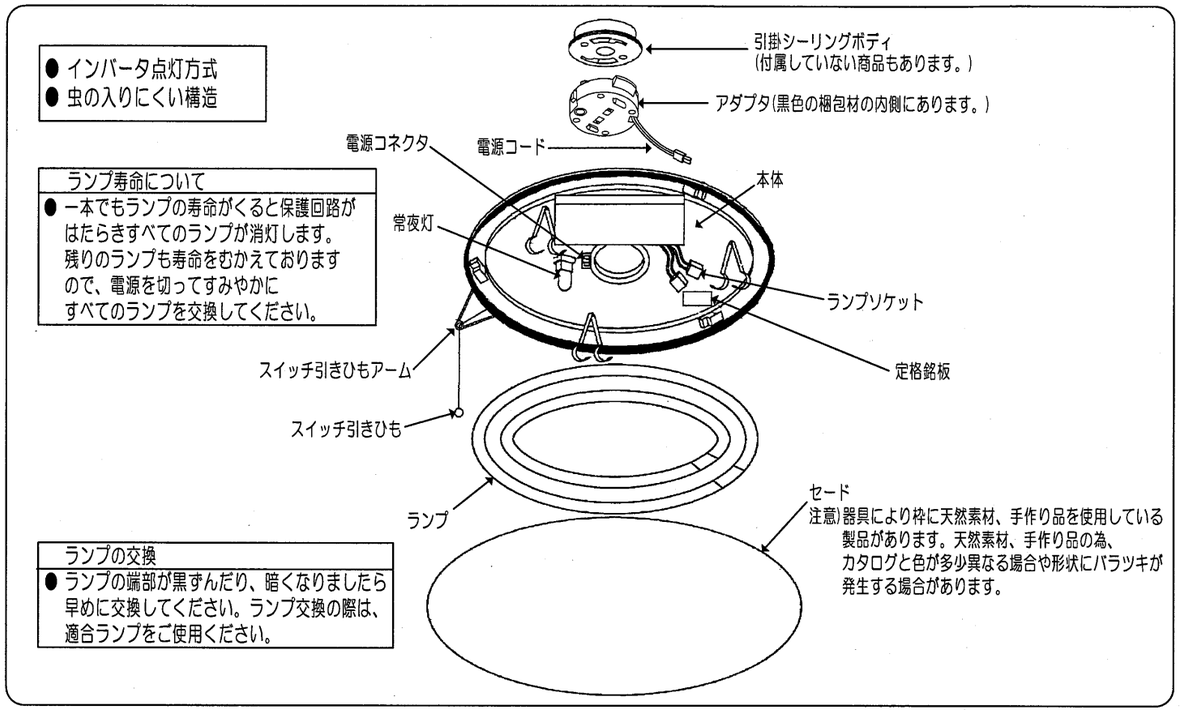
| 接触禁止 | 高温になっています。<br>やけどの原因。 |
|---|---|

● 交流100V以外の電圧で使用しない。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因。
● 調光器が取り付けられている配線で使用しない。火災の原因。
● 天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合あります。

● 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
● 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
● 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

## ■各部のなまえ　● この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

● インバータ点灯方式
● 虫の入りにくい構造

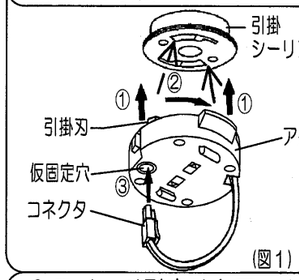



**ランプ寿命について**
● 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかにすべてのランプを交換してください。

**ランプの交換**
● ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。ランプ交換の際は、適合ランプをご使用ください。

## ■器具の取り付けかた（必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください）

### 1.天井の引掛けシーリングボディにアダプタを取り付けてください。

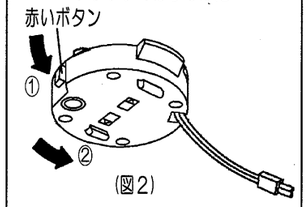


(図1)

①引掛けシーリングボディへアダプタの二本の引掛刃を挿入します。　(図1)
②“カチッ”と音がするまで右に回します。(図1)
③電源コネクタを仮固定穴に挿入します。　(図1)

**⚠注意**
赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。
アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因。

アダプタのはずしかた

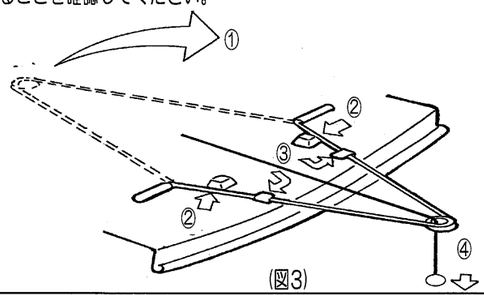


(図2)

赤いボタンを押したまま左に回してください。(図2)

### 2.スイッチ引きひもアームをセットしてください。

本体からスイッチ引きひもアームをセットします。(図3)
①本体内側にセットされているアームを外側に折り返してください。
②折り返し後、アームをつまんでアーム引掛ダボに確実に引っ掛けてください。
③アーム引掛ダボにアームが引っ掛からないまま操作するとセード落下の原因になります。
④引きひもを引き通常に操作ができることを確認してください。



(図3)

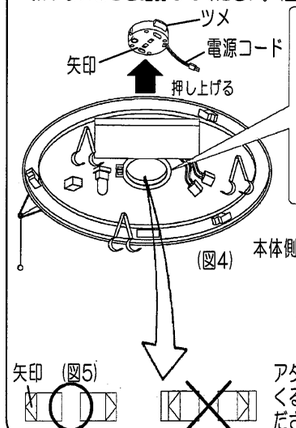




### 2.本体を取り付けてください。

注)器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)
①本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置を合わせて本体をまっすぐに押し上げます。(図4)
②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。(図5)
③アダプタ電源コードのコネクタを本体側電源コネクタに差し込みます。抜けないことを確認してください。(図7)

**⚠警告**
● 器具本体は確実に取り付ける。取り付けが不完全な場合、落下してけがの原因。
● 電源コネクタを差し込んだあとは、本体を回さない。本体を回すと電源コネクタが破損し、感電・火災の原因。



(図4)



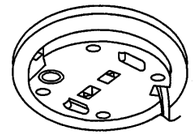
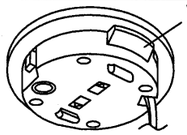
(図7)

矢印　(図5)



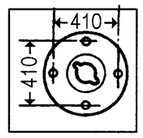
アダプタ矢印の先端が両端にくるまで本体を押し上げてください。

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに取り付けできます。

| 薄いタイプの場合　(高さ約11mm) | 厚いタイプの場合　(高さ約22mm) |
|---|---|
|  |  |
|  |  |
| 器具本体を１段階押し上げてアダプタのツメを金属の段に取り付けてください。(図6)<br>※アダプタのツメは見えません。 | 器具本体をアダプタのツメが両方見えるまで２段階押し上げてプラスチックの段に取り付けてください。(図6) |

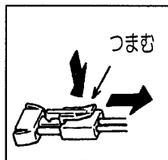
器具本体がガタガタしたり、簡単に回転する場合は、正しく取り付いていません。再度器具の取り付けを行ってください。

本体を取り付けた際、(図8)のノックアウトを部屋の向きと平行に合わせてください。
本体を取り付けた後、本体が安定しないときは(図8)のノックアウトを利用して木ねじ(別売)でとめてください。

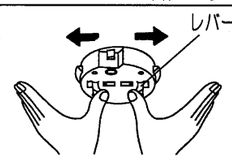


(図8)

本体のはずしかた



(図9)



(図10)

電源コードのコネクタを電源コネクタからはずします。
コネクタをつまみながら引き抜いてください。　(図9)
両手で本体を上に押しながら中央にあるアダプタのレバーを矢印方向に押しながら本体をはずしてください。　(図10)
本体は必ず両手でおさえながらはずしてください。
本体をおさえないで本体をはずすと本体が落下してけがの原因となります。

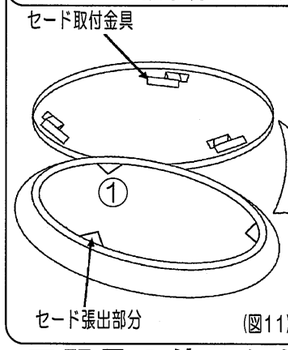
### 4.ランプを取り付けてください。

(1)本体に径の大きいランプから順に取り付けます。
①ランプをランプソケットの位置に合わせてランプホルダーにランプ取り付けます。(3箇所)
②ランプソケットをランプに取り付けます。

ランプのはずしかた
ランプ径の小さいランプからはずしてください。

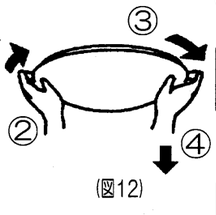
**⚠注意**
ランプをソケットに確実に取り付ける。
取り付けが不十分な場合、点灯しなかったり火災の原因。

### 5.セードを取り付けてください。



(図11)

①セードの張出部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。(図11)
②セードを持ち上げます。　(図11)
③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。　(図12)
④セードを軽くを引っぱってはずれないことを確認してください。　(図12)



(図12)

**⚠注意**
・取付け不完全は落下・けがの原因
・セードは丁寧に扱うこと。セードが割れてけがの原因

セードのはずしかた
“カチッ”と音がしたあとセードがとまるまで左に回してください。

## ■器具の使いかた

### スイッチ引きひも操作による点灯順序

全光点灯(100%) → 調光点灯(節電調光) → 常夜灯点灯 → 消灯

スイッチ引きひもを引くと、左図の順序で器具の点灯状態が切り替わります。

※プルスイッチ操作を行う際、本体のガタつきが気になるときは、市販のねじで本体を固定してください。
また、プルスイッチ操作を行う際、引きひもがセードに当たらないように真下に引いてください。